

戦後80年

富士正晴と戦争



富士正晴記念館展示写真(毎日新聞社)

中国大陸丘陵部を行軍する旧日本軍

展示

日記・書簡・作品・写真・寄書で見る

・富士正晴の応徴・出征

・同人仲間(野間宏ら)の出征

・同人雑誌「三人」の動向・廃刊

・編集者正晴-詩人伊東静雄,歌人高安

國世,若き三島由紀夫との交流等-



富士正晴が従軍中に携帯した飯盒・水筒
(富士正晴記念館所蔵資料)



出征直前の富士正晴
(一九四四年五月十八日 満三〇歳七か月)
(富士正晴記念館所蔵資料)

富士正晴 (1913~1987) の 従軍

- ・臨時召集礼状くる(1944.2.28) ・徳島の部隊に入隊(同 3.3)
 - ・中支派遣軍に転属,中国大陸に派兵 (同 5.21) (上海~南京~桂林~広州)
 - ・復員(鹿児島上陸 1946.5.20) ・両親の高槻阿武野日赤公舎に帰着(同 5.22)
- 〈自身に課した「鉄の規則/附則」※〉 ①必ず生きて帰ること②戦時強姦をしないこと③大いに飯を食うこと④ビンタを喰ってでも無理な仕事を避けること

※『一夜の宿』より引用

期 間 令和 7 年 3 月 25 日(火)

~令和 7 年 9 月 28 日(日)

時 間 午前 9 時 30 分~午後 5 時

休館日 月曜日(祝日と重なる場合は開館)

会 場 富士正晴記念館 (茨木市立中央図書館併設)

大阪府茨木市畑田町 1-51 TEL.072-627-7937

入場
無料

